

各 位

上場会社名	ファーマライズホールディングス株式会社
代表者	代表取締役社長 大野 利美知
(コード番号)	2796)
問合せ先責任者	常務取締役 村上 典夫
(TEL)	03-3362-7130)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年4月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,052	692	535	223	10,458.04
今回発表予想(B)	23,416	980	770	295	13,783.76
増減額(B-A)	362	287	234	71	
増減率(%)	1.6	41.6	43.9	31.8	
(ご参考)前期実績 (平成21年5月期)	20,007	539	407	222	10,396.63

修正の理由

連結業績につきまして、売上高はほぼ前回予想通りですが、営業利益で980百万円(前回予想比41.6%増)、経常利益で770百万円(前回予想比43.9%増)となる見通しであります。

前回予想から大幅な増益見通しに修正する主な要因は二つあります。一つ目は、既存店売上高が好調に推移したことであります。平成22年5月期の新規出店数は3店舗にとどまりましたが、在宅医療や施設調剤等の地域医療に対して積極的に取り組んだことに加え、新型インフルエンザ流行の影響等もあり、既存店売上高は当初予想と比して高水準で推移いたしました。その結果、人員や在庫等の店舗運営管理の効率化が進み、利益率が大幅に改善する見通しとなりました。

二つ目の要因は、平成22年5月期に連結子会社化した3社(株式会社三和調剤、株式会社ハイレンメディカル、有限会社北町薬局)による収益貢献であります。3社の経営効率の改善が予想以上に進捗し、当初想定していた以上の収益貢献を果たす見通しとなりました。

また、当期純利益は295百万円(前回予想比31.8%増)となる見通しですが、特別損失として採算性の低い薬局店舗等の減損処理をおりこんだものとしております。

なお、平成22年7月15日付「平成22年5月期決算短信」の開示遅延理由及び今後の決算開示に関するお知らせにて開示しております通り、過年度決算の訂正作業のため「平成22年5月期決算短信」は8月上旬の開示を予定しております。株主、投資家をはじめとする関係者の皆様におかれましては、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。何卒、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる場合があることにご留意ください。

以上